

～江府町内の“あげなこと”
“こげなこと”をお届けしたい～

…そんな思いから始めました♪



新学期ピカピカ号

平成30年4月4日発行

[発行人] 遠藤 敏彦

[編集長] 上野 真

[タイトル] 藤井 聖子

[イラスト] カジタニノリコ

[編集スタッフ]

井上 裕吉、中川 久美子

筒井 真理、末次 多衣子

こうふのたより

= チラシブック =

♠ 今月の“あげなこと”“こげなこと” ♠

- ① 佐川の日野川沿い桜並木☆ライトアップ
- ② 道の駅「奥大山」は4月もイベント目白押し!
- ③ 町のお宝再発見～天然記念物を知る～
- ④ 夢 labo「明倫の丘」通信
- ⑤ 七色がしフリーマーケット出店者募集!
- ⑥ 『新甘泉ツアー』参加してきました!
- ⑦ まなびや-ひの谷学舎- で学んできました♪



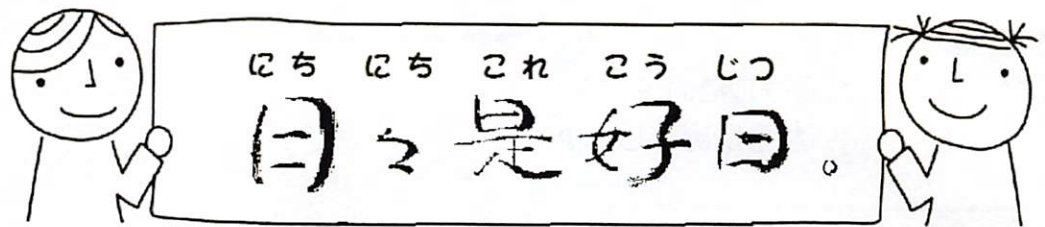
チラシ・広告などの折り込みや掲載記事に関する
お問い合わせは編集長・上野までお願いします。

☎080-3011-5506

編集後記

社会人の新年度、学生さんの新学期、ピカピカの一年生。誰のうえにもやってくる春。今年は一週間以上も早いという、桜満開の春。1日から江尾の町内で始まったひなまつりコレクションも好天で、日曜日ということもあって大賑わいで開幕した。町人ひとり一人が、ちょっと頑張って、出来ることを出来るだけ、みんなでやれば、こんな大きな仕事ができる。ほんとにみんなの力はすごい。やってる人も楽しい。町外から来てくださるお客さんもとても喜んでくださる。まさに「楽しいまちづくり」そのものである。

昨年6月から皆様にお届けしてきた「こうふのたより」がいよいよNPO法人「こうふのたより」として、本格活動を始めます。お一人お一人の力が必要です。くれぐれも前向きなご助言、ご支援いただきますようお願い申し上げます。 中川 久美子



◆コラムを書くと言ってはみたものの。その⑦◆

春がやってきた。しかも、ものすごいスピードで。日本の春の一大事で、この時期のあいさつに必ず登場すると言っても過言でない桜の開花状況も、今年は三分咲き、五分咲きといった風情を味わう間もなく一気に満開となり、ピカピカの1年生を待たずに散ってしまいそうな気配だ。そんな春は、毎年、四季の変わり目の中で最も心が躍る季節。そして、何となくウキウキ（ほげほげ）する気持ちを抑えつつ、気を引き締めて新しい生活に向き合う季節。が、ただでさえ浮き足立っている私に、追い討ちをかけるようなカープの快進撃。ま、ほんの実力ですけどね…なんて独り言を言いながら、キクマルの笑顔と赤い風船が舞い踊る4月のカレンダーに、今日もまた赤い〇を一つ。冷静を装いつつ、こみあげる笑いが抑えきれない（ただの、気持ち悪いおばちゃんです）。優勝した昨年、一昨年と、4月にダッシュしたものの、開幕戦は取りこぼしており、開幕からの4連勝は何と25年ぶり。打線は水物…とよく言われるが、取られても必ず取り返してくれる強力打線は、投げ手にとって心強く、思い切った配球など補球する側にも普段以上の力を与える。少し前に『広島カープの勝ちグセ戦略～熱狂的ファンと最強組織の作り方～』という本を読んだ。本の帯には「なぜ、小さな資金で大きな企業に勝てたのか」と心を惹きつけられる言葉とともに、5つのポイント「独自の発想」「伝統」「組織風土」「顧客獲得」「販促システム」が掲げられている。読み進めた中で特に印象深く心に残っているのは「強いチームとは、選手の情熱的なプレーがファンの心を動かし、そのファンが選手に勇気を与え、その勇気が情熱的なプレーを生むという、正のスパイラルを起こしているのです」というフレーズ。今さら言うまでもなく（「ご承知のとおり」とまではえらそうすぎて書けませんでした）、私はふだん町職員の一人として、町をフィールドに働いている。そこで、このフレーズで言うチームを「町」、選手を「職員」、ファンを「町民」と例えると。魅力あるまちとは、情熱的な職員の仕事が町民のみなさんに満足感を与え、応援してもらえ、応援をもらった職員が町民の幸せのためにさらにがんばる…という『江府町版正のスパイラル』が作り上げるのだと考えられないか。熱狂的ファンと最強組織。江府町を愛する町民のみなさんと、町民のみなさんのために日々奮闘する職員で構成される組織が、同じ目標に向かって進み始めるとき、きっと何かが動くだろう。新庁舎建設という大きな節目を職員として迎える今、それがその時かな…と、大好きなカープをお手本として改めて思う。

職場デスクの日めくりカレンダーの中からは、「プレッシャーは、力に変えて克服する」と、黒田博樹大明神が語りかけています。このコラムでは、職員としての目線は出すまいと自分の中では決めていました。が、京都人となって2シーズン目、就職を決める姪が「帰るなら、江府町で働きたい。家から米子に通勤するくらいなら京都で働く」と言ったことも手伝い、この職場に来て2年目のシーズンを迎えるこの4月、私もちょっと自分にプレッシャーをかけてみることに。彼女の人生は彼女のものです。帰って来いと強要するつもりはありません。でも、「うまいかうまくないかは別として、ごはんを作らんでいい生活に戻りたい」のが本音のようなので、故郷に錦を飾るうれしい日が来たとしても、食事当番制度を導入したいと思います。

【いたしほ】

佐川の日野川沿い 桜並木

Full Color

LEDライトアップ

2018
4月

6日 金
7日 土
8日 日

18:30~21:00

佐川 桜並木周辺

おすすめ撮影スポット・佐川の桜並木がライトアップされます。LEDにより様々な色で演出。日野川クイズや奥大山グルメの屋台販売など、新しい春のイベントです。



先行ライトアップ

2日 月
3日 火
4日 水
5日 木

19:00~20:00

5日 木
フラダンスSHOW
19:00~



楽しいお花見イベント

日野川クイズ大会

7日 土 19:00~

日野川クイズに答えて
豪華景品をGETしよう!

日野川沿い 奥大山グルメ屋台



変更になる場合があります。

道の駅 奥大山

日野郡江府町佐川908-3 ☎0859-75-3648

ブナの森マルシェ館

7日 土 8日 日 のみ

夜9時まで営業!

道の駅 店頭販売

フライドポテト じゃぶ汁
唐揚げ 各種ドリンク
大山おこわ
たこ焼き

変更になる場合があります。

奥大山のお土産取り揃えております!



飲酒運転禁止

飲酒の際は必ず運転代行をご利用ください

- 駐車場、トイレは道の駅奥大山をご利用ください。
- 駐車場での事故・盗難等につきましては一切責任を負いません。
- 騒音等、周りのへの迷惑となる行為はおやめください。
- ゴミは設置されたゴミ箱へ捨ててください。
- 荒天時は中止になる場合があります。

主催
お問合せ

江府町観光協会 Tel0859-75-6007





4月のオススメ情報！

■ 4/1(日)～4/8(日)

奥大山ひなまつりコレクションに参加します！

4月になり暖かく、そして日も長くなってきましたね♪
奥大山の春といえば「奥大山ひなまつりコレクション」！
今年は道の駅奥大山も参加させていただくことになりました♪
江尾からは少し離れていますが、佐川・道の駅奥大山のお雛様も
お見逃しなく!!ひなコレの「スタンプラリーカード」ご持参で
コーヒー半額サービスも♪是非寄ってごしない！！



■ 4/7(土)～4/8(日)

佐川桜並木のライトアップに伴い、夜9時まで営業！

4月6日(金)～8日(日)の佐川桜並木のライトアップに合わせ、7日(土)・8日(日)
の二日間は物産館ぶなの森マルシェを夜9時まで営業致します！
道の駅からも屋台が出店予定ですので是非お越しくださいませ♪

■ 4/21(土)～22(日)

道の駅奥大山生誕祭！！



おかげさまで3周年！道の駅奥大山では生誕3周年の感謝を込めて、生誕祭を開催いたします♪
奥大山グルメや地元団体のイベント等、「楽しい！」が
もりだくさん!!お楽しみに！！



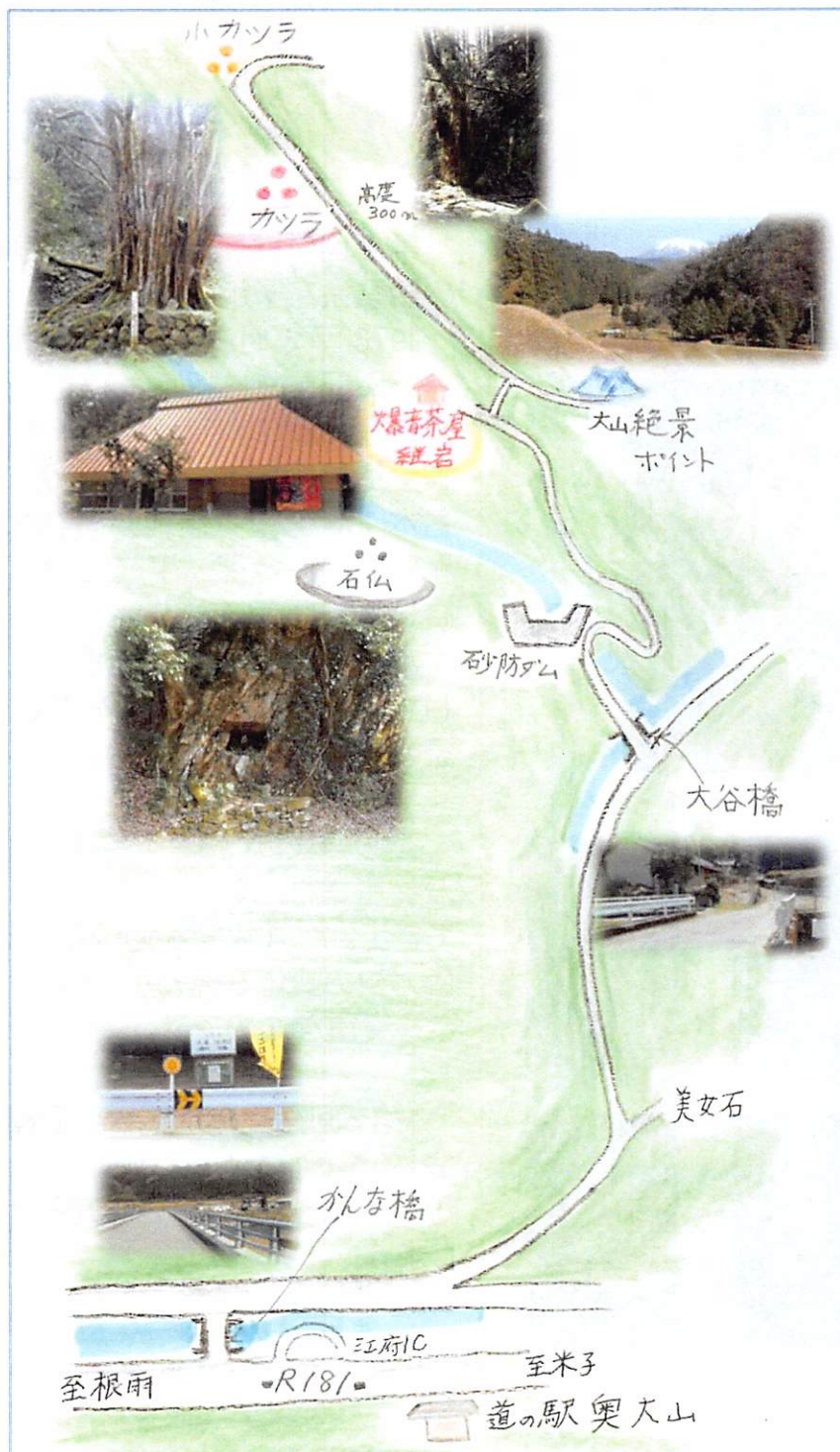
物産館ぶなの森マルシェ 8:30～18:30
お食事処なないろ檜 11:00～14:00 ※喫茶は10:00～17:00
☎ 0859 - 75 - 3648
直売所みちくさ館 9:00～17:00
☎ 0859 - 75 - 2032

町のお宝再発見～天然記念物を知る～

第4号

～第1回観察会案内下見報告及び第2回予告～

発行2018.4.4 (文責：井上裕吉)



3月24日素晴らしい晴天の中、第1回観察会『洲河崎のカツラ』の下見に行ってきました。

道の駅 奥大山を起点にしたとき、

- 奥大山 ↓ 500m
- かな橋 ↓ 1200m
- 大谷橋 ↓ 700m
- 爆音茶屋継岩

ここから、森林浴をしながら多くが舗装された山道を登りました。軽トラックが通ることのできる幅員はあるのですが、ところどころ、雨によって崩れていたりして危険な箇所もありました。

40分ほど歩くと、私たちの左側にカツラの木が出現しました。



周囲にはしめ縄が張り巡らされ、木の根元には祠がありました。鉄山の守り神『金屋子神』が宿る神木として伝えられていることがわかりました。その少し上にある『小カツラ』も見学をして帰路につきました。

『爆音茶屋継岩』の周辺は、大山の絶景ビューポイントや歴史の詳細は知りませんが石仏があり、農村の原風景を思わせる素晴らしい環境でした。

第1回 洲河崎のカツラ 観察会 4月14日(土)10:00～道の駅奥大山集合

第2回 町のお宝観察会

※日時 2018年5月12日(土) 10:00~

※対象 武庫の七色ガシ

※語り部 加藤富郎氏

鳥取県天然記念物 七色ガシ

鳥取県日野郡江府町武庫



●種別 シラカシ(ブナ科) ●樹高 16m ●枝張 12m ●目通り 2.1m



2月6日



3月7日



4月10日



5月7日



5月14日



5月27日



7月22日



11月26日

撮影/藤原 成雄

第2回は『武庫の七色ガシ』の観察会を予定しています。

1973年3月30日に鳥取県の天然記念物に指定されています。鳥取県内でも名木として「とつとりの名木~とつとりの名木100選~」(鳥取県農林水産部森林保全課 平成12年)にも選ばれています。

また、悲しい伝説があり、「七色ガシ物語」として絵本で読む事が出来ます。

左の写真は、藤原成雄さんが撮影されたもので、お借りしてきました。1年間を通じて七色ガシの変化を見ることが出来る貴重なものです。

『第2回武庫の七色ガシ観察会』の詳細については、『こうふのたより5月号』でお知らせします。

2018.3.27 (文責：井上裕吉)



今年3月27日

ここ2、3日の好天で、気温が20℃を越え今週末には桜が開花するのではないかと思います。

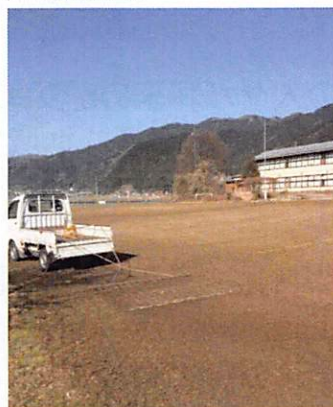
3月25日には旧明倫小学校にある2面のテニスコートのラインテープをはがす作業への参加、ご苦労様でした。事前にテープがはがされていまして、後はテープから釘を抜く作業が残っていました。

テープの幅は5cm、このテープの両側におよそ10cm間隔で長さが6cmの釘が打ってあります。ほとんどが経年劣化によって錆びた状態になり、それを抜くのは大変な作業でした。

皆さん、車座になり話をしながら昼までかかり、およそバケツ一杯分の釘を抜く事が出来ました。



釘抜き作業



レーキを引く

その後、運動公園から借りてきたグラウンド整備用のレーキを軽トラックに引かせて校庭を整備しました。



はがしたテープ



テープと釘



釘



テープ

～桜を見る会～

○日時 **4月7日(土) 10:00～**

○内容 持ち寄りで、地域のこと、「明倫の丘」の将来などを

話しながらビールを飲みませんか。



昨年4月9日の桜

2018.4.1 (文責: 井上裕吉)

気温が 20℃を越える好天が続き、旧明倫小学校校庭の老桜 6 本すべてがピンク色に染まり、花も咲き始めました。今週末には見ごろになるのではないのでしょうか。(3月30日)



～『夢 labo「明倫の丘」』結成～

昨年の神楽公演の後、
「神楽を見て元気をもらって帰りました」
「これを契機に明倫地区が元気になったらいいのに」
などの感想をもらい、『下蚊屋の荒神神楽を見る会』の会員の中

でも、明倫地区の高揚したこの機運を大切に、もっと元気になる方策がないものかと議論をしてきました。

その結果、地域の人々が将来のビジョンを共有しながら、小さな成功体験を積み重ねることによって、明倫地区の持続可能な地域づくりに貢献できるのではないかという結論に到達しました。

3月13日には『下蚊屋の荒神神楽を見る会』の会員と新しいメンバーを迎えて、旧明倫小学校において『夢 labo「明倫の丘」』結成総会が行われました。

『ゆめラボ「めいりんのおか」』と読み、labo は「laboratory」(ラボラトリー)の頭4文字をとっています。この単語には「実験室、研究室」などの意味があります。会の名前には、

「みんなで知恵を出し合いながら、地域が元気になることを実現していこい！」

という思いが込められています。

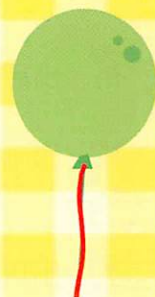
現在、14人の会員がいますが、誕生したばかりの小さなグループです。たくさんの人の参加を願っています。

●問い合わせ先 井上裕吉(0859-75-2920)



お待ちしております

七色がし フリママーケット



平成 30 年 5 月 20 日 (日)

10 : 00 ~ 13 : 00

旧明倫小学校 校庭

(雨天 旧明倫小学校 体育館)

準備作業(校庭整備・草取)

期 日 平成 30 年 5 月 13 日 (日)

時 間 8 : 00 ~ 10 : 00

場 所 旧明倫小学校 校庭

出店者を募集しています!

主催者 七色がし女性会(神奈川地区女性有志) 代表 加藤泉

新甘泉ツアー

せせらぎ公園から歩いて梨農地へ行きます。10分くらいです。

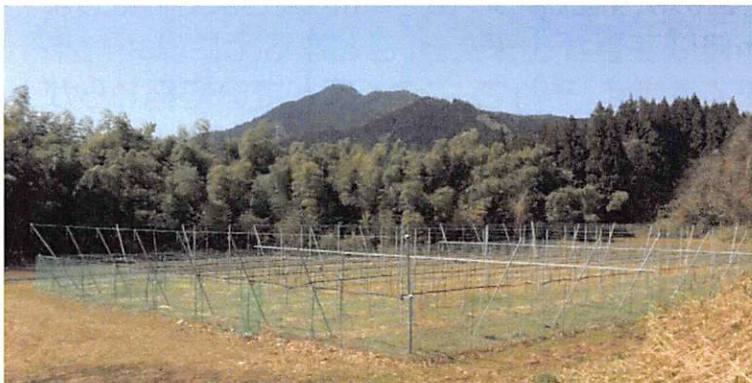


せせらぎ公園から銀杏の段を望む

3月14日**新甘泉**ツアーに参加してきました。『**新甘泉**』は『しんかんせん』と読みます。

せせらぎ公園に集合して、銀杏の段を目指して10分ほど歩きました。木立の中の坂道を少し歩くと、視界が開け、1.3aの畑に整然と180本の**新甘泉**の若木が並んだ農地がありました。

昔、この場所は江尾新町を過ぎる日野川まで流れている船谷川をまたいで、まっすぐな石段がここ銀杏の段まで伸び、そこには青洞寺、さらにもう少し上に江尾城があったそうです。



梨農地全景

そもそも、「**新甘泉**」とは梨の品種です。日野郡では今まで梨栽培がおこなわれたことはありませんでした。

気温が低いことなど、自然環境が大きく影響していると思いますが、そのような中で奥大山農業公社と地域おこし協力隊の公社班（藤井聖子さん、梅木琴未さん）によって、平成27年12月から平成28年3

月まで旧明倫小学校の校庭にて梨の苗の養生が始まりました。

私は「**新甘泉栽培記録通信**」（『こうふのたより』=チラシブック=）により、その栽培の様子を知る事が出来ましたが、多くの人がある事実を知らなかったのではないのでしょうか。

現地に行って栽培に携わってこられた藤井聖子さん（地域おこし協力隊）の説明を

聞くことで、壮大な仕事をされてきたのだということが実感できました。

梨農地の周囲には野生動物の侵入から梨を守るようにネットが張り巡らされて



いました。参加者はその新甘泉農地に入り、藤井聖子さんが時系列に編集した紙ボードの説明によって壮大なプロジェクトの今までの歩みを知る事が出来ました。私たちには、一つ一つの言葉から、この栽培に取り組んだ藤井聖子さんの熱い思いが伝わってきました。

以下は藤井聖子さんの解説を録音して、

それを活字に起こしたものです。

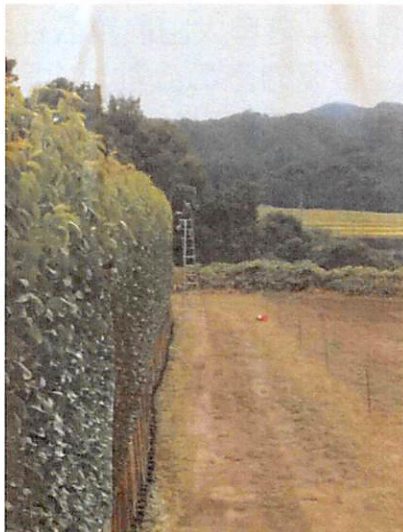
『最初に栽培の結果を説明して、そのあと道具の説明をして、最後に質問を受けたいと思います。』



一番最初(H27.12)なんですけど、スタートは今登ってきた道付けから始まりました。2tのダンプを入れてもらって、シャベルでへつってもらって、全員公社のメンバーなんですけど、あとでバラス(石)を下ろして鎮圧機で踏み固めを行いました。



2年前の4月(H28.4)、1年目の栽培ですが、目標は何かと言いますと、まず、苗を4mの高さまで伸ばします。4m伸ばす事が出来たら、こんなふうにジョイントが出来てきます。それで、このくぼんでいて稲わらが入っているところですが、ここの1列に180本の苗を植えていきました。そのときは、1m20cm、9月までに一番高いところの線があるじゃないですか、あそこが4mの高さです。あそこまで伸ばします。



つづきまして、いろんな作業をしているのですが、9月(H28.9)の時点で無事4mの高さまで届くようになりました。そのとき、普及員さんに見に来ていただいて、「ここまでよう育てたなあ」と言ってもらってそれはすごくうれしかったです。

水が大切なんで、水を欠かさず、水を1日2回やるということさえ守る事が出来たのかなと思います。これから、これは誘引しているんですが、こういうテープナ

ーという野菜の栽培でも使われるものがありまして、これでは自分でやると支柱と苗を誘引します。これは光分解テープを使っているのですが、3~6ヶ月で弱くなって手で触れるとぼろっと取れます。

それで、これがすごく怖かった作業で、今、脚立がないんですけれど、脚立を立てて自分がだいたい3mくらいのところにいるから、ほんまにこわかって、設置面もポットがある所は窪んでいるし、平らではない。脚立に上っても、身を乗り出して誘引するから…たぶん落ちないのですが、傾いて落ちそうに思うときもあって、それから、梅木さんと2人で、片方が脚立を支えておいて、もう片方が脚立に上るようにしようと思いました。普及員さんに聞くとやっぱり落ちる、落ちかけたときは飛んで着地をする。私は落ちて死ぬというイメージしかなかったものだから、もうちょっとやりたくないな苦手な作業です。



つづきまして、10月(H28.10)なんですが、植わっているところがまだ更地なので、管理機で耕しました。通常ならば公社のみんなとやるということだったのですが、稲刈りシーズンということで、なかなか忙しいので、私と梅木さんとで管理機を使っておこそうということで、米沢小学校から軽トラに積んで持ってきてやりました。

ただ、普及員さんが言われるには、トラクターでおこした方が根が伸びていくのに対しても、全体を耕した方がいいといわれたのですが、いかんせん、棚ができている状態なので、ここに入ってもらうことが難しいし、もう一つ言われたのが、これ(棚線)で首を詰めるということも言われたので、やめた方がいいといわれました。

普及員さんにもいろんな方がおられて、いけるいけへんということで、結局、公社のトラクターを持ってきて、屋根を外したらぎりぎりこの高さ(棚線)で行けたので、入ってもらって、全部耕してもらうことになりました。公社の中田さんがトラクターの運転に慣れておられるのでできたのであって、普通の人はやはりしない方がよいとのことでした。



それから続きまして(H28.10)、4mの高さまで育った苗をポットごと掘り起こします。180本あるので、いい苗と悪い苗を選別していい苗をこんなふうに起こして、倒してと準備をしていきました。実際には折れないように運びました。

運んだ後に、これはグラスファイバーという曲げる

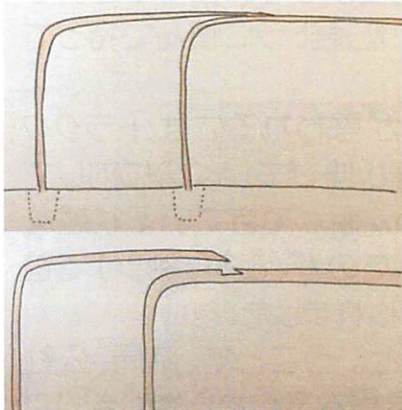
事が出来て、トンネル栽培に使う支柱があるんですが、それを使っています。それは何でかという、この後、**接ぎ木**で小刀を使って、苗に切り込みを入れていくという作業をしなければならないので、今ちょっと太くなっているのですが、本当はもっと、これはすごく頑丈な感じがするのですが、もっと弱くて、細かったのがこのようにしっかりと固定しています。

これが栽培で使っている**誘引ロープ**なんですけど、この結び方が**男結び**というものをしています。とれにくい結び方です。男結びは何回もしました。



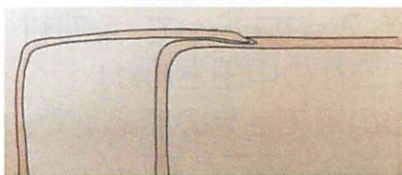
それから、**接ぎ木**の要領で苗と苗をくっつけていくということなんですが、ポットを植えるときもこのポットは**腐敷布ポット**と言って、そのまま地中に入れていきます。すじを4方向に入れて展開して植えている状態です。受け口と入れる方とあるのですが、こんなふうな形に切り込みを入れました。これも、当初協力隊というか、無茶苦茶素人なのでできるかということだったのですが、普及員さんに教

えてもらって見もって、やっていたら、「やっていいですよ」ということで、協力隊が担当したわけもあります。



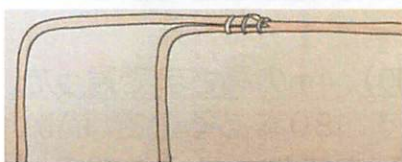
Q:「接ぎ木ですが、具体的に言うところのことですか？」

A:「そうです。けど、そこは**ジョイント**とは呼ばず**ドッキング**と呼びます。苗の先と苗の先を接木する。**ジョイント**とは一つの苗の先端の細くなってきたところを、隣の苗の太いところに次いでやることを言います。」



Q:「腐らないんですね？」

A:「凍害にあっているようなところもあります。先の方が弱い。」



Q:「茶色のものは何ですか？」

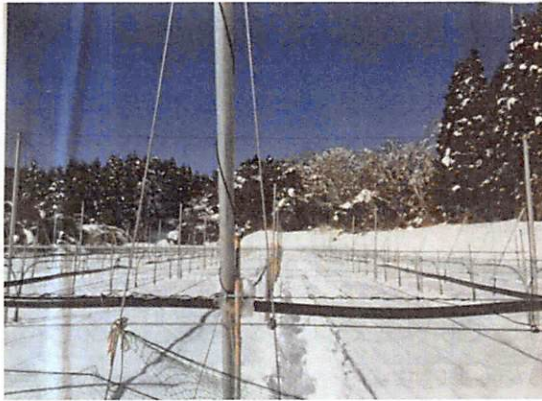
A:「だから、すすけたような感じになったりしていて、これは**カルスマート**と言って癒合剤をつけています。お薬みたいなもので傷がついたら樹液が出て、樹液と樹液が出たものが活着して**カルス**をまくような感じですが、それを助けるものとして**結束バンド**の締める方向を互い違いにして力が均衡になるようにして、そのあと**カルスマート**をします。」



このジョイント栽培の利点は何かというところ、苗は上に行けば行くほど、細くなっていく。そうすると、玉の成りが太いのと小さいのとがあるが、この場合だと、細くなってきたところに太い苗を接いでやるので、木の太さもよくなる。結束による均一の玉もなりやすくなる。

Q:「こっちまで伸びていますが？」(棚線を指して)

A:「最大ここまでです。これは30cmずつとっているから150cmくらいです。」



続きまして、去年の冬(H29.1)です。すごく雪が多く、記録的な雪になり、この辺まで積もっていました。さっきお見せしたかんじきをはいて登ってきたのですが、常に雪が足の付け根まであるような状態でした。これは何をしているかというところ、細いのですが、雪がこの上に積もっていくと倒れてしまうかもしれない。棚栽培をしていますので、これ以上積もってまた凍みてということを繰り返すと、棚が

壊れてしまうかもしれないところなんです。

藤井さんから参加者へ質問:「ここでは1m20~30cmくらい雪が積もっています。入って雪を落とさないといけないのに、どうやって入ったらいいと思いますか？あっちに自分がいるイメージをして、こっちに入らなければならない。」

参加者 A:「ほふく前進」

参加者 B:「通路の所だけ掘る」

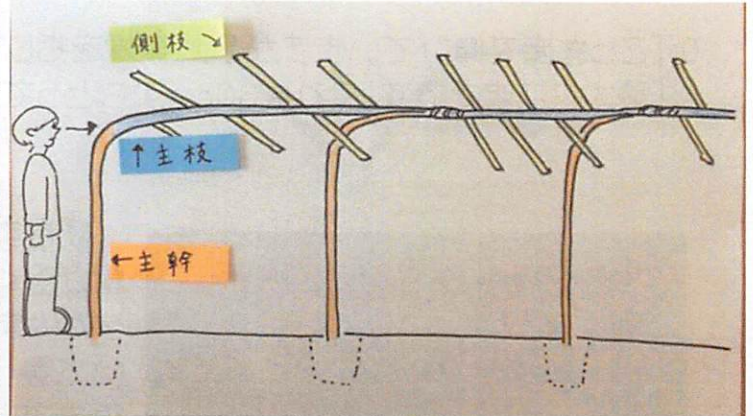
参加者 C:「またいで上からとる」

藤井さんから参加者へ質問:「網の前に到着する。そこから網の中に入るために、現実的にどうしますか？」

参加者 D:「階段を作る」

藤井さんの答え:「倉庫の中に2つ脚立があるのですが、それを取り出して、一つを網の手前にしっかりと固定します。もう一つの脚立を網の中に投げ入れて、それをしっかりと固定してやる。そうやって網の手前から向こう側に入ります。今度は網の中から手前に出られるかどうか確認する。出られなかったら、通常一人ですることはないのですが、自分がちゃんと脱出できるかを考えて、それから入っていきます。」

参加者の質問:「中に入ったらその雪はズ、ズっと入るのですか？」
藤井さんの答え:「ズ、ズっとはいかなくて、硬くなっています。」

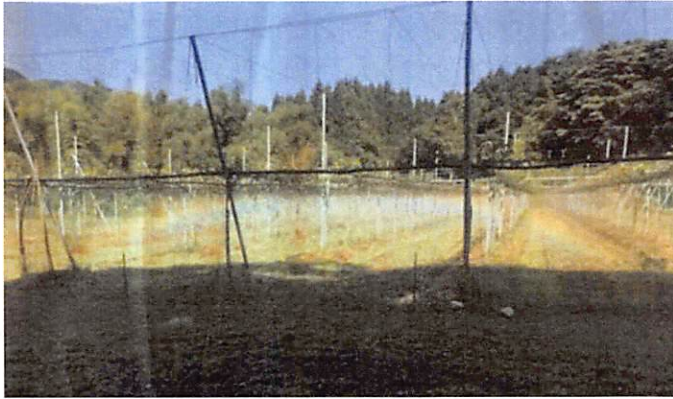


続きまして、2年目(H29.4)ですが2年目の目標は**側枝**というものを伸ばすことです。木の名前を覚えてもらいたいのですが、ここが**主幹**、ここからが**主枝**です。ここから出ているのが**側枝**。2年目はこの**側枝**を伸ばしていくことです。剪定とかあって、これは難しいのであんまりやらしてもらえなかったのです。



続きまして、5月(H29.5)の写真です。防除と言って梨は病気に弱い。作るのが難しいと言われている。防除さえしっかりすれば、大丈夫かなと思うんですけど、4月から9月まで月に2、3回は防除します。(園内の苗を示して)すごいきれいに並んでいると思われるんですが、等間隔で、これは1.67m(ジョイントをしている苗と苗の距離)。

これは何でかということ、理由がありまして、梨の栽培で防除をするとき、エスエス(SS)と言って、スピード・スプレイヤーという小型防除機を使います。それに乗って、走りながら後ろの方で薬が出るようなものを使うんですけど、それを使うような構想もあるんですけど、(現実的には)ないですけど、普及員さん的にはちょっと美というものを求められていて、美しくというところがありまして、本当に、きち、きちとここも全部合わせて縦横きちんとしています。



続きまして、7月(H29.7)、これはちょうど虹が見えたときの写真です。1年目、2年目でも特に感じたものは水をとにかく確保してやることだと思いました。これも問題がありまして、当初、井出水をくみ上げたわけなんですけど、今歩いてきてもらった下のところにパイプが入れてあって水をくみ上げているのですが、このチューブ



ブを読んでもらうとミストエースと書いてありまして霧状で出るんですが、これが厄介でして、井出水なので小さな小さな砂があって、詰まってしまったのです。

1年目、これはちょっと使ってなくて、毎日軽トラで水を運んでやってました。これは、ちょっと色々あって…2年目、普及員さんからアドバイスを頂いて、タンク2tたまるんですけど、最初タンクの下の方からくみ上げていたのですが、上澄みのきれいな水を使ったら大丈夫ではないかというので、ストレーナーという吹上口

を上から突っ込んで上のきれいな水をくみ上げることで使っている状態です。ほんまにそれが大変なことやったなと思います。

参加者の質問:「それはクリアしたんですね？」

藤井さんの答え:「ひとまず。」

参加者の質問:「それをまた井出水からとるとまた同じことにはなりませんか？」

藤井さんの答え:「大丈夫です。去年実績があるから。」

参加者の質問:「ろ過するようなものが入っているのですか？」

藤井さんの答え:「フィルターがもともとついていました。最初ダメだったのは、下の方の沈殿していたものをとっていたから、今回は取る場所を上からにしたからよくなりました。その結果霧が出るようになりました。」



続きまして(H29.8)、テープナーという道具を使って側枝を誘引する。この目的はこっちの方向から見ていると思うてください。これが主枝で、こっちから側枝が出ています。梨の木は高木性の木なので上に上に伸びようとする。そうになると、これだけが太くて、強い枝になります。

初めに、申し上げた通り、これだけ大きい玉が成ったりして、先に行くほど弱くなってしまおうので、枝の力をコントロールする必要があります。ですから、棚の線まで引き上げてテープナーで誘引して力をコントロールしてやる。あっちが根元なので、こいつを弱めたらいけない。よくわかりませんが、そうかなと思ったりしています。誘引の目的としては均一の大きさの枝を作る。それから、こんなふうに上に上にこれ自身が成長するエネルギーではなくて、人間がしたいことは玉をとることですから、花芽をつけてやる。上に伸びることを倒すことによって、エネルギーを分の花芽をつけてやることです。

これで説明を終わります。』

【質問コーナー】

Q:「側面は動物のフェンスをしています、上はなにかされますか？」

A:「上も今年、防災多目的網をつける予定です。」

Q:「花がついて実がつくと、花は摘花、袋掛けをしますか？」

A:「摘果ではなく、蕾の段階でする摘蕾(てきらい)をします。これは赤ナシなので袋掛けはしません。」

Q:「180本植えて、いいものとわるいものと分けましたが、わるい方の使い方はどうですか？」

A:「全部使いました。伸びていないものについてはもう一度育てました。」

Q:「180本あって、1本から何個ぐらいとれますか？」

A:「今年は1本あたり8個取れる予定です。」

Q:「年数がたてばとれる量は違いますか？」

A:「平成33年には1反当たり3.5~4t取れるので、およそ1万個は取れると思います。4tで1玉350gとして11,428個。一つの苗から63個。1個300円で販売(市場に出す手数料として-100円、選果場経費として-50円)として1玉当たりの収益150円で計

約150万円。]

Q:「草刈りはどうされていますか？」

A:「刃のものを使っています。木の周囲は手刈りです。」

Q:「このナシ園は奥大山農業公社に所属しているのですか？」

A:「公社と農林産業課だと思えます。」

Q:「初年度はどれぐらいとれますか？」

A:「1本から8個。180本では1,440個」

Q:「花はいつですか？」

A:「4月中・下旬頃です。」

Q:「**受粉**についてはどうですか？」

A:「作業は1~2回でできます。**作業導線**が単純なので楽だと思えます。」

Q:「新しい苗がありますが？」

A:「南部町よりもらいました。10本もらいました。これらを入れて189本あります。」

Q:「あっちが何で切り開いているかわかりますか？」(宮市方面を指して、藤井)

A:「風が抜けるため。もともとこの地は盆地になっていました。そのため、冷気が下にたまってしまいます。花の開花時期に霜が降りるとダメになります。**燃烧法**というのを使って、霜が降りることがわかっている場合は、1反当たり20個の灯油缶をおいて、早朝の3時から灯油を燃やして気温を上げます。」

Q:「ここで梨を栽培しようとして動機みたいなものは何ですか？」

A:「新甘泉は高収益が上がる。二十一世紀であつたらやっていると聞きました。なぜなら、新甘泉は1反当たり90万の収益。二十一世紀は1反当たり30万の収益。新甘泉は米子では8月末で終わる。そのとき、江府町では9月から出していける。高価格で取引できる。」

Q:「梨園の大きさは？」

A:「13a」

それぞれが大変な作業であることに驚かされました。

今の到達点に至るまで、たくさんのご苦労があったと想像できます。それにもかかわらず、淡々と説明される姿に、参加者はとても感銘を受けました。

また、藤井聖子さんは**新甘泉**栽培農地を活かして、『**子どもに農業や食の魅力を伝えるきっかけをつくりたい!**』との思いで、江府小学校の子どもたちと一緒に梨栽培に取り組みました。

第1回目は2017年8月5日「水やり」

第2回目は2017年8月19日「水やり、タンク洗浄、肥料やり」

第3回目は2017年9月2日「南部町梨農家さんの農地にて、収穫体験！」

この取り組みを通じて、梨農地が農地としての性格だけでなく

『(子どもたちが)頭で考えるだけでなく、自分の体を動かして食べるものを作る。新甘泉農地が、(子どもたちの)教育の場としても機能しないかなあ~』と思い、栽培体験を実施しました。』

と藤井聖子さんは述べています。(「新甘泉栽培記録通信 第5号」)

このような体験は、子どもたちのこれからの生に充実を与えるという意味でも、とても大切なことだと思います。

さて、3年目の今年、4月中・下旬あたりには初めて梨の花も咲きます。桜の花と入れ替わったように咲く180本の梨の花。花の色、漂う香り、...その場面について想像力を最大値にして描く作業は、私たちを退屈にさせることはありません。梨の若木が江府町に存在をアピールする瞬間です。そして、9月には待ちに待った収穫の季節を迎えます。

新甘泉ツアーが終了した今、私たちは『**コツコツと続けていく力は大きいなあ~**』の藤井聖子さんのつづやきが心にしみこみます。



① 地域の安全と安心を担う



顔の見える
関係が大事だね。

心臓の動きを
止めるんだって
初めて知ったわ。

AEDが

会社や役場の
人が消防団を
支えとーたね。

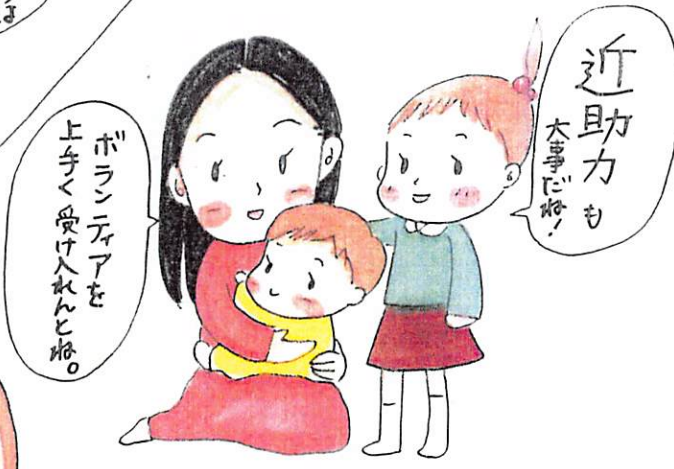
② 見学・鳥取県西部地震展示交流センター



日頃から
ゆるやかな
つながりを
長にかけるといけんね。

ここからは
こまったら
助けてって
いおうね。

③ 九州北部豪雨災害
支援活動から学ぶ



近助
力も
大事だね！

ボランティアを
上手く受け入れんとね。



ひの谷楽舎-まなびや

今年
は安全
安心を
学んで
きたよ。

日頃
からの
つぎあ
準備が
大切だね。

安全と安心を考える

⑥ 安全と安心のための行政の取り組み



人は、自分は
大丈夫って
思いがちなんです。

ハザードマップ
など、情報を
EJJI(物件者)も
ほしいな。

④ 災害に対する農林業の役割



私たちに
たくさんのお礼を
くださーうね。

本林は
生きよう
だね？

⑤ 集落における自主防災活動について



仮設トイレの
組立も練習
しちよーだね。

雑談を
形にするのが
すごい！



3月のカサラ日記

春だよ！春だ！

3月に入って2週間がたった所、気温が急に20度まであがりました！あの寒い極寒の冬はどこへ行ったのか?!もう、春の風が本格的に吹き始めています。今年は雪解けがダントツ早いです。去年は4月の頭まで雪があったのに・・・冬の真っ只中は気持ちも体力も落ちていたのに温かい春の日差しに触れると元気いっぱい！もうすぐ桜の花も咲き始める。そして、新緑が芽吹いて新しい命の誕生が次々始まる。去年は兵庫県からの引っ越しでバタバタしていたせいで、山菜採りを楽しむ事が出来なかった。なので、今年は絶対山菜をいっぱい採りたいと思います！この大山はビックリするほどの山菜の宝庫で

す！「こしあぶら」に「タラの芽」「ふきのとう」「天然わさび」に「こごみ」自然の恵みには圧倒されます！採れたてをてんぷらにして食べたらこれがまたうまいんです！食いしん坊にとっては楽しみな春がやってきました！



パリック?!



2018年カサラファーム初のお手伝いさんが来てくれました！中国からのパリックさんです！母国では天気予報のお兄さんとして活躍で、テレビに毎日出演していたそうです！現在はその仕事を辞めて、前から興味があった日本に旅に来ました！そして様々な観光地があるにもかかわらず、カサラファームまでお手伝いに来てくれました！カサラファームでの滞在期間は2週間しかないのに彼に精一杯江府町の田舎暮らしを体験させてあげたいと思いました！一年中暖かい、彼の故郷には当然雪は降らない。なのでカサラファームで白い雪景色の中、雪に触れるのが初めて！なんとパリックは大興奮！雪だるまを作り始めました！ウーフのお仕事として大豆の選別も手伝ってくれました。



関西に乗り込み！ ぐるぐるマルシェ



3月10日に大阪の難波神社で開かれた

【大阪ぐるぐるマルシェ 5周年！第2回オーガニックナーレ】に出店しました。またまた、6時間かけての関西方面への出店。遠いところまでわざわざ出店しに行くのは労力がかかりますが、農繁期で行きたくても行けなくなるまでは、毎月出来ればこの様な出店を続けて行きたいです。行けば様々な人たちと繋がりが出来て、消費者の方と直接お話しができる。消費者の方にはどのようなニーズがあって、食に対してどういう思いでいるのかなど直接聞けます。それと、カサラファームの活動に感動して下さり訪れたいと言うありがたい方もいっぱいいます。その方たちに、カサラファームの宿を提供して、他では味わえない【田舎体験】をしてもらえたら、こちらも嬉しいです！今回の出店でさらにたくさんのいろんな人たちと繋がり、「カサラファン」も増えました！また、来月も関西に出店します！今から楽しみです。

※4月の関西出店予定

4/14 ぐるぐるマルシェ 4/15 春の法要 in 興正寺
4/21 むもくてきマルシェ 4/22 ル・マルシェ など
(あくまで現在の予定につき変更になる場合もあります)



春の恵みにありがとう



雪解けとともに地面からヒョコッと顔を出すこの植物。今年はカサラファームあたりでは、3月から出てきました。主に道端にいっぱい出てきます！この、小さいフキノトウを良い時期にとると程良い苦みがある美味しい山菜です。てんぷらにしたら一番美味しいかと思いますが、フキノトウ味噌も負けなほどうまいです！これをご飯にかけて食べるとこれがもう超うまい！何杯もご飯を食べてしまいます！まだ、つぼみが開く前で、しっかり詰まった物が美味しいです！

つぼみが開いたものは苦いので

あまり食には向いてないです。なので、雪が溶けてすぐ、外へ歩きに行って、開く前のフキノトウを探さないでくださいね。お日さんが照って、青空の下で散歩するのは最高です！奥大山での楽しみのひとつです！



イ-イ-?!

秋田国際大学に現在留学しているイーイーちゃんは春休みを利用してカサラファームまで来てくれました！彼女は語学を勉強していて、農業へ興味を持ってカサラファームへ来てくれました。台湾では、今オーガニックの食べ物に意識が高まり、需要も増えています。日本より先を行っています！彼女から台湾にあるいろんな健康に関する商品の話を聞くと、カサラファームでも取り組みが出来そ



うなアイデアもたくさんありました。彼女が着いた日は雪が降り積もった寒い日でした！秋田での暮らしは、外の気候は寒いながら部屋の中は暖かいので、想像をはるかに超えた極寒のカサラファームは、最初は死にそうだったと言っていました。こちらでは、服を貸して部屋を暖かくするしか対応策が無く、はらはらの毎日でした。「カサラファームよ！なんとか晴れて暖かくなってくれないかな」と祈ってるうちに3月後半には晴れの日が毎日のように続き、日に日に彼女の笑顔を見る事が出来て、本当にほっとしました！



祈りが届いたのか、標高の高いカサラファームでも日中20度まで上がりました！普段、料理はしないらしいのに、僕たちのためにインターネットで調べて、超美味しい台湾では有名な料理を作ってくれました。将来の夢は、「旅行作家」彼女の夢の第一歩がカサラファームからスタートしてくれれば嬉しいです！

仲間に入れてもらいました

『道の駅奥大山』皆さまご存じの、江府町ではおなじみの場所！この場所に、カサラファームの商品も仲間に入れて頂きました！江府町では、観光客の方や地元の方が行き来する人が集まるナンバーワンのスポットに、カサラブランドの商品が並んだ事は、カサラファームとしては、とてもうれしい大事件です。前を通るたびに、用事は無いのに立ち寄って商品の減り具合を見てはにやにやとしています(*^^)v

カサラファームのコーナーの前でにやにやしている人がいたらカサラファーム関係者かもわかりません(^.^)今回の初出店の商品は◎玄米麺(350円)◎柿チョコ(480円)◎キューブのお米(350円)です。道の駅奥大山さんに行かれた時にはぜひ、カサラファームの商品をどうぞよろしくお願ひいたします。どの商品も愛しい「カサラの子」です。これから、色々な商品を企画していきますのでどうぞご鼠眉に！

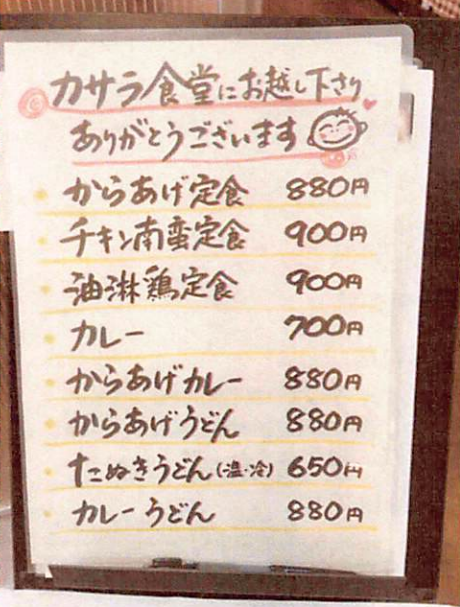


カサラ食堂 超うまい!

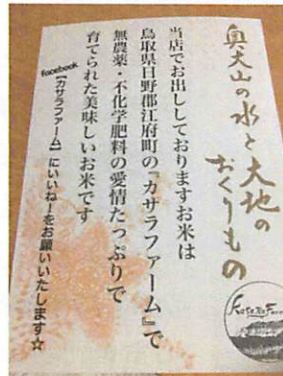
3月24～30日まで、奥大山道の駅でカサラファームを立ち上げ、そしてこの3月まで支えて下さった生田省二氏が、いつも月～火・木～日までされているシヨップさんの長期のお休みの代わりに「カサラ食堂」を営業されました。忙しいであろうと予測されていた25日の日曜日には、カサラファームスタッフも応援に！オープンの11時を待たずに人が入り始めて、そこからはひと息つく間も無い位の大繁盛ぶり♪今シーズン最高の来客数の80食となりました！

からあげが数種類、うどんやカレーと色々あるメニューの調理全般をすべて一人でこなす生田氏の背中は、動物が住んでいたカサラファームを1から立て直したのがよくわかる、とても頼もしい姿でした。3月末で、カサラファームの主の管理人は終えられますが、これからもその頼もしさでカサラファームの良きアドバイザーとして支えて頂けたらと思いました。この期間の最終日には、実際に

お邪魔して生田氏の料理を味わわせて頂きに行きました。今回いただいたのが、「チキン南蛮」と「油淋鶏（ユーリンチー）」交換して2つとも食べましたが、どちらも本当に美味しかったです！かかっている「たれ」が味の決めて！生田氏の手作りの秘伝のたれは超美味しかったです！毎週水曜日は、生田氏の「カサラ食堂」のオープンの日！ぜひ皆さんも美味しい料理と美味しいお米を味わいに行かれて下さい！カサラ食堂はお米も超美味しいです！自



信を持っておすすめします！「なぜ？お米が美味しいのか？」それは・・・カサラファームで作った愛情たっぷりのお米だからです！カサラファームのお米も合わせてお願いいたします (*^_^*)



超一流のカサラ?!

「高島屋」さん！と聞いてイメージするのは、「超一流☆」カサラファームには縁もゆかりもなさそうな大阪難波の高島屋さんで、なんと！カサラファームのお米を扱っていただきました！とっても美味しい串焼きを出されている『九志焼亭』さん！先日、お礼をかねてのご挨拶とランチを頂きに行ってきました！以前、夜に行った時には「満席」の繁盛ぶりで食べる事が出来なくての、再チャレンジ！お昼のランチのコースをいただきましたが、丁寧に作られてるのがわかるお料理で、そして、出されたお米が美味しかったので、ごはんの「おかわ」をさせていただきます。今回、カサラファームのお米の宣伝をお願いして店頭POPの設置をして下さいました！カサラファームも超一流の仲間です！



【九志焼亭】さん ☎06-6626-9938 高島屋大阪店・8F 営業時間 11時～23時 (ラストオーダー22時)

やっと出来るぞ！ さあ！やるぞ！

春がやってきて、雪も解け始め、外で働くのには最高の農業シーズンが始まりました！日焼けまでするこの日差しの下で、待ちに待った今シーズンの準備スタート！あまりのんびりしすぎると、出遅れてしまうので今期の出だしをしっかりとやらないと！今年の稲作は去年の経験を踏まえて、もっと効率的に良いお米を作りたいです！変わった事が好きな僕はお米の品種もいろいろ植えています。去年で軽く20種類栽培してました。今年はまださらに増えます。アジアの長い粒のお米も今年から栽培します。春一番の作業は、堆肥散布と野菜の苗やお米の苗を育てるためのビニールハウスを建てること。今年はビニールハウス2棟でお米や野菜の苗を育てます！今年の予定は稲作2丁と畑が2丁。その分の苗を全てこのハウスで育てます。ビニール張りには人数が必要です。ちょうど張る時にイーイーちゃん以外にも愉快的な頼りになる友達が集まって来てくれました！とても助かりました！風がちょっとでも吹いていたらビニールが勢いよくふっ飛んでしまうので、落ち着いた静かな日を狙ってさっとビニールをかける。空の神さまと相談です！空の神さまのご機嫌の良い日に行動です！ビニールハウスが終わった後に行う次の作業は、カサラファームにある、去年大切なお米になった後の大量のモミガラをクン炭にして田んぼに撒く事です。カサラファームの毎日の農作業はやる事がいっぱい！どれだけたくさんの方がいても、きっと手が足りない感じの広大な敷地です。でも、やりがいは満タン！やった後の達成感は満点！その農作業が再開出来るのは、本当に嬉しいです！やっとおてんとさんの元で、外仕事ができるぞ！頑張るぞ！！



探しているけど見つからない

先月の「探しているけど見つからない」には、アドバイスを頂き・・現在パソコンを頂けるような団体と交渉中です。毎月ながら、読者の皆さまのあたたかさに、感謝申し上げます♪それでは、今月もわがまま申し上げます！

- ①【タオル】カサラファームの毎日には、かなりのタオルが必要です。体裁など気にしません。ご自宅で使っていない新品のタオルがありましたら、カサラファームに頂けたら嬉しいです！
- ②【壺（花器）】殺風景なカサラファームに、花を添えたくてここ最近では、玄関周りに生け花を活けています。しかし、花器がほとんどなくて、花材はあっても活けきれずおらずで・・・。現在行われている『ひな祭りコレクション』の素敵な玄関に置かれているような壺や花器が頂けたら嬉しいです！
- ③【土壁の粘土】家の改装で土壁を作りたいので、採掘出来る粘土か解体をしてしまいたい蔵や古いお家の壁を再利用したいので、欲しいです！新しい家づくりにどうか見つかりますように！

揚げたての
情報をお届け!

江尾十七夜イメージキャラクター
えびちゃんが江府町のイベントや
観光スポット情報などをご紹介します★



えびふらいデー

雪も解けて季節はすっかり春❀ですね(^^)
今回は3月3日(土)に行われた冬限定イベント「スノーシューで行く 木谷沢ダイエツツア-」のレポートをお送りします!



この日の天気は晴れ! 風もほとんど吹いていなくて、スノーシュー日和でした(^^)

→木谷沢溪流の入り口です。
暖かくなってきましたが、まだ雪がたくさん残っていますね。
ここでガイドさんの自己紹介や注意事項等の説明がありました。





そしていよいよスノーシューの出番！
ガイドさんにサポートしてもらいながら
スノーシューを装着しました！
自前のスノーシューを持ってきている
参加者の方もおられましたよ(^^)

準備が整い、みんなで出発～♪

↓こちらはとちの木(トチノキ)の芽です。
とちの木は冬の間、芽の表面をねばねば
した樹脂で覆って、寒さや乾燥などから
身を守るんだそうです！



↓生簀(いけす)に到着♪
ここは昔魚の養殖に使われていたものが
そのままの形で残っています🐟



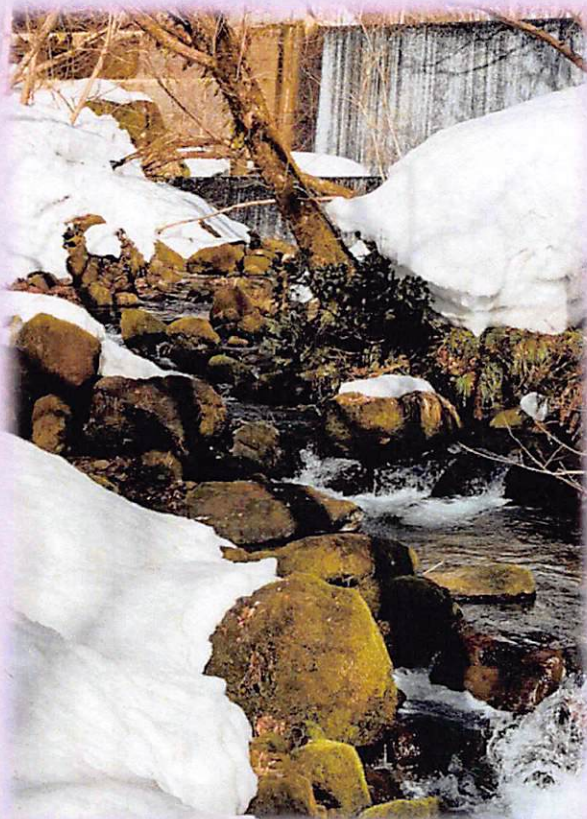
→こちらは秋の生簀の写真です。
今と比べてみると、生簀より高く雪が
積もっているのがわかりますね！

この生簀を目印に、まずは絶景コース
を歩きます♪



←木谷沢溪流の撮影スポットです！
ここもたくさん雪が残っていますね～。

↓橋の上にもこんなに雪が！！
ここを渡って更に下っていきます。
ガイドさんのサポートがないと危なくて
渡れないなと思いました(>_<)



溪流から空を見上げると、木々の
間から陽が差し込んでとても綺麗
です★
今日は本当にいい天気よかったです！(・▽・)





絶景コースを一通り見て回った後は再び生簀まで戻って、木谷沢ガイドツアーではすっかりおなじみのコーヒータイムです(^^) 参加者のみなさんがお菓子を持参しておられて、おすそわけしてもらっちゃいました★ 話も盛り上がっていて、みなさんとっても楽しそうでした♪

コーヒーを飲んでまったりした後は、巨木コースへ！
こちらも普段と違った景色だったので、違いを楽しみながら歩くことが出来ました♪



木谷沢を一通り散策してお腹がぺここになりました(>_<)
この後はとっても楽しみにしていた門脇旅館さんの「たたらんち」です♪



じゃじゃーん！
こちらが門脇旅館さんの「たたらんち」です！
とってもボリュームー★
大山おこわに鉄焼き肉巻きこんにゃくときのこの
トマトソース添え、十割蕎麦など、どれも本当にお
いしかったです♡



今回は「ダイエットツアー」ということもあり、
寒さが心地よく感じるくらいたくさん歩きました！

おいしいご飯を食べながら参加者のみなさんと
いろんなお話が出来たのもとっても楽しくて、
素敵な時間を過ごせて充実したツアーだったな
と思います！！

みなさんも冬の間しか見ることの出来ない風景
の中で、楽しく身体を動かしてみませんか？(^ ^)



ガイドや木谷沢溪流など、観光に関するお問い合わせ先はこちら↓



江府町観光協会

〒689-4401

鳥取県日野郡江府町江尾 2083-2

TEL:0859-75-6007

FAX:0859-75-6008

エミーズ通信

2018年
4月号



2018年4月発行 / 社会福祉法人 尚仁福祉会 就労継続支援B型事業所 江美の郷



♪ たたらんち取材♪



3月23日カフェ内にて、たたらんち春バージョンと大山開山1300年の特別デザートバージョンをモデルさんに食べて頂いての写真撮影が行なわれました。モデルさんの可愛いリアクションをプロのカメラマンさんに取って頂き、きっと仕上がりは最高だと思います！



エミーズカフェの雑貨コーナー

エミーズカフェのレジ横には雑貨コーナーがあります。利用者の方が作って下さったポーチやレジアクセサリー、編み物など販売しています。布や配色なども自分で選んでおられます。ぜひご覧くださいませ！



エミーズカフェからのお知らせ

- ★たたらんち春バージョン開始
3月23日からスタート！ご予約の方は下記電話番号におかけ下さい。
- ★500円ワンコインランチお知らせ
・五目チャーハンが販売終了しました。
(新メニュー計画中！)

暖かくなり、桜も咲き始め、本格的な春がやってきました。イベント事も多い季節、ぜひエミーズカフェでホッとするひとときをお楽しみください。



カフェ内



チーズケーキ
セット



ワンコインランチ
(ドライカレー)



社会福祉法人 尚仁福祉会
就労継続支援B型事業所 江美の郷
鳥取県日野郡江府町久連7番地
TEL 0859-72-3210 / FAX 0859-72-3211
E-mail: syougai-fukushi@syoujin.or.jp
http://www.syoujin.or.jp
フェイスブックHPから「エミーズカフェ」検索♪

「カフェではなく
「カフェ」ではなく
小さいサイズはなく
大きいサイズ
と検索してください」



まめトレのまめ日記

リズム

タイミングをあわせて表現

定位

相手やボールなどと自分の位置関係を把握

反応

合図に素早く反応

バランス

姿勢を立て直す

運動する上で必要な7つの能力を向上させる練習をします

連結

関節や筋肉の動きをタイミングよく同調

識別

手足や用具を視覚と連携させ、精密に操作する

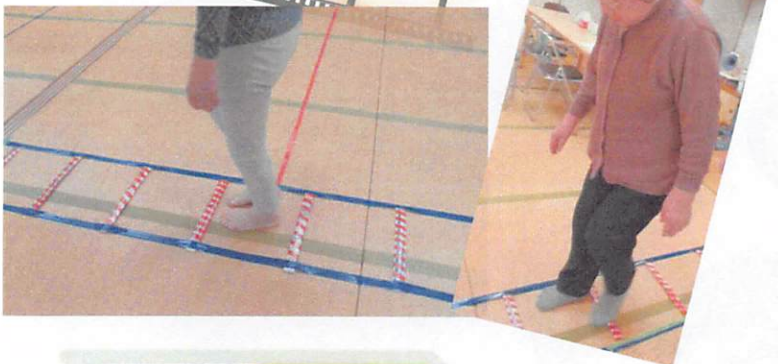
変換

変化に対応して、素早く動作を切り替える

今月のトレーニングは ポートボールです。

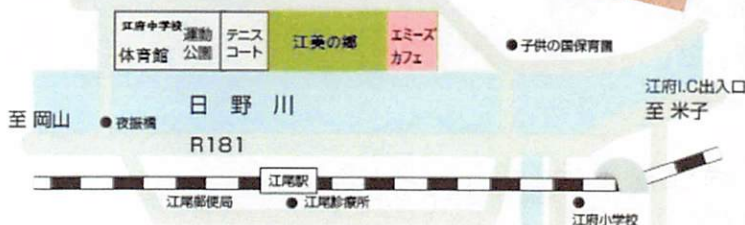


フォトギャラリー



ゆったりまめコース 始めます

その名の通り
『ゆ～ったりの～んびり』
運動を行うコースです。
火曜日・金曜日の午後と
なります。



月曜日～金曜日までの
AM10時から12時
PM14時から16時 (土日休み)
1回 500円
5回 2000円
一か月何度でも 5000円
送迎はお問い合わせください

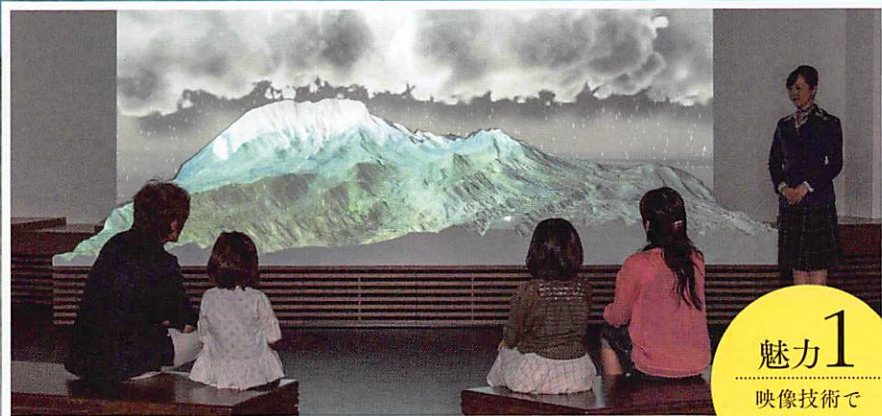
社会福祉法人 尚仁福祉会
日野郡江府町久連7番地 エミーズカフェ 2F
電話 72-3210

#水の山行ってきた

サントリー天然水 奥大山ブナの森工場



01
工場見学に
参加された方のみ対象
記念品引換券
有効期間 2019年3月末まで
試飲時にスタンプにお返しください。
他の引換券と併用できません。
1ツルニ4名様まで有効
キリトリ線



プロジェクションマッピング

奥大山の四季折々の美しく豊かな自然のもと天然水が育まれるまでを、プロジェクションマッピングを用いてご紹介します。視覚的にも楽しみながらご覧いただけます。

魅力1
映像技術で
自然を体感

製造工程見学

「サントリー 奥大山の天然水」の製造工程をご案内いたします。徹底した品質管理のもと、安全・安心な製品をつくる様子を、臨場感のある映像でもお伝えします。



魅力2
製造工程の
見学



雪室見学

冬に降り積もった雪を貯蔵し、その冷たいエネルギーを夏場の空調などに活用する施設「雪室」をご案内します。環境にやさしい取り組みの1つです。

魅力3
自然との共生を
体感



試飲

豊かな自然に育まれた「サントリー 奥大山の天然水」のおいしさをご体感いただけます。その他、「サントリー天然水」ブランドの製品もお試しいただけます。

魅力4
おいしさを
体感



遊歩道散策

遊歩道「奥大山小道」を散策しながら、奥大山が豊かな自然に囲まれていることを、体感いただけます。展望台では写真撮影もお楽しみください。

魅力5
豊かな自然を
体感

ご来場前にご予約をお願いいたします

電話 | **0859-75-6114**

電話受付時間 19:30~16:30 (休業日をのぞく)
※おかけ間違いのないようご注意ください。

休業日 | 火曜日・水曜日
※時期によって変更がございます。
※ご来場前にホームページやお電話にてご確認ください。

〒689-4424 鳥取県日野郡江府町大字御机字笠原1177

パソコン・スマートフォンからお申込みいただけます。

サントリー天然水奥大山ブナの森工場

検索

<http://suntory.jp/OKUDAISEN-MW/>



ご予約・
お問い合わせ

#水の山行ってきた 工場見学ツアー ～奥大山～

無料

知る！ 奥大山の天然水コース



プロジェクションマッピングや製造工程、自然エネルギー活用施設「雪室（ゆきむろ）」を見学します。ご案内後は、「サントリー天然水」ブランドの試飲をお楽しみください。

所要時間 約60分（見学＋試飲）

開催日 休業日をのぞく毎日
※日によって工場の製造ラインが稼動していない場合があります。
※開催時間は、ホームページをご確認ください。

知る！歩く！ 奥大山の天然水コース



プロジェクションマッピングや製造工程、自然エネルギー活用施設「雪室（ゆきむろ）」を見学します。「サントリー天然水」ブランドの試飲したあとは、遊歩道を散策しながら、奥大山の豊かな自然を楽しむことができます。

所要時間 約90分（見学＋試飲＋遊歩道散策）

※天候等により遊歩道散策を実施できない場合は約60分のツアーになります。
※時期によって開催のない場合がございます。詳しくは、ホームページをご確認ください。
※日によって工場の製造ラインが稼動していない場合があります。

ご来場前にご予約をお願いいたします

予約方法

- 電話から **0859-75-6114** (受付時間 9:30～16:30)
- インターネットから <http://suntory.jp/OKUDAISEN-MW/>

ご予約は1名様より承ります



交通アクセス

- JR伯備線江尾駅から車で約20分
- 米子自動車道「江府IC」から車で約30分
(国道181号線を根雨方面へ ⇒ 江尾交差点を左折 ⇒ 国道482号線をしばらく道なり ⇒ 工場案内看板(茶色)を右折 ※バイパスにはのらないでください ⇒ 次の十字路を左折 ⇒ 約3km)
- 米子自動車道「蒜山(ひるぜん)IC」から車で約30分
(国道482号線を左折 ⇒ バイパスを過ぎた後、しばらく道なり ⇒ 十字路を右折 ⇒ 約3km ※バイパスにのる場合は、バイパスを降りて左折 ⇒ 次の十字路を左折 ⇒ 約3km)
- 米子鬼太郎空港から車で約1時間半、
JR米子駅から車で約1時間

※スタッドレスタイヤ・タイヤチェーン装着のお願い
冬季期間中は積雪の可能性がありますので、お車でご来場の際には必ずスタッドレスタイヤとタイヤチェーンの装着をお願いいたします。運転には十分ご注意ください。



※掲載内容は2018年2月現在のものです。

ご来場に際してのお願い

- ※成人の保護者同伴でないお子様(未成年)のみでのご来場はお断りしております。
- ※お客様の安全と製品の衛生・品質を守るため、場内では係員の誘導にご協力ください。
- ※食品工場のため食品衛生上、飲食物の持込はご遠慮ください。
- ※食品工場のため、工場敷地内へペットを連れてのご入場はご遠慮ください。ただし、補助犬はこの限りではありません。
- ※台風・積雪などの荒天時や自然災害時など、やむを得ず休業させていただく場合があります。ご来場前にHPやお電話にてご確認ください。





まちの宝“^{あたい}今日の星”



とくおか たてお
徳岡 健男さん（91さい）

本町二丁目 在住



スポーツはいい ずーと地元で暮らしたい

背筋がシャキッとして、若い頃と変わらないスマートなスタイル。
やっぱり若い頃からずーとスポーツを続けてこられた方は違うなあ〜と日頃から感じていた。

小学校三年生から始めたソフトテニスは、生涯続いた。当時の日野産高のソフトテニス部は、明治神宮大会（現在の全国大会のような）に常連校のように出場していた。そのくらい強かった。3年生になってキャプテンを任された昭和18年のある日、職員室に呼ばれ、そこには大隊長をするような位の高い軍人さんが来ておられ、「この戦況の厳しい時代に球遊びとは、何事か。」とあえなく廃部となった。戦争が終わって、昭和22年に復活するまで球技はすべて許されなかった。厳しい時代である。

戦後は、中学校に勤務し、ソフトテニスをはじめ陸上、バレーボール、卓球と多くのスポーツを生徒に教えた。鳥取県で優勝、準優勝と華々しい時代もあった。

退職後は、江府町のお家芸のソフトテニスでは知る人ぞ知るといふくらいの実力を発揮された。ペアにも恵まれ、全山陰大会では、長い間優勝を譲らなかった。

今は、奥様が体調をくずされて、一人暮らしを余儀なくされておられる。男子は厨房に入るべからずの時代に大きくなったので、三度の食事が一番大変。自分の体調も万全ではない。いろいろ不安は尽きないけれど、何かと大変なこともあるけれど、やっぱり地元で暮らし続けたいと願っている、とおっしゃっていました。

近所で、地域で、町中で、みんなと一緒に、頼り、頼られ、楽しく暮らしていけたらいいなあ…とあらためて、強く感じた。

れぽーたー  なかがわ くみこ

3周年の、感謝を込めて！

4月

21

土

22

日

道の駅 奥大山



21 大岩酒造 土 新酒試飲・販売会



地元酒蔵・大岩酒造による日本酒の試飲即売会。奥大山の恵みをふんだんに使用したこだわりのお酒をどうぞ！

21 お食事処なないろ樫 土 1日限定メニュー えびちゃん SET



知る人ぞ知る江府町のキャラクターえびちゃん。そんなえびちゃんと道の駅がコラボ！当日限定のえびちゃんセットが登場します！

22 大山おこわ FES 日



江府町名物・大山おこわが集結！秘伝の味付けはそれぞれ！是非違いをお楽しみください！

22 おかもと旅館 日 話題のキッチンカー！



江府町の老舗旅館・おかもと旅館が話題のキッチンカーで登場！大山どりの唐揚げや大山おこわは必食です！

生誕祭

祝 3周年 22 こうふ一箱古本市 日



本好きによる、本好きのための古本フリーマーケット。思いがけない本との出逢いがあるかも!?

～イベントコーナー

21 直売所みちくさ館 土 もちつき大会

22 親子どじょうすくい 日

その他出店多数！！

道の駅奥大山

TEL:0859-75-3648
営業時間 8:30～18:30